

陳情第 2 2 1 号	受理年月日	令和 6 年 1 1 月 2 5 日
付託委員会	建設建築委員会	
件名	市行政による門司鉄道遺構保存のためのクラウドファンディング実施を行うことを求める決議について	
<p>要 旨</p> <p>いわゆる門司鉄道遺構（初代門司駅）関連で、市行政の一部と市議会が混乱している感がある。</p> <p>2024年11月21日に、市長が突然全面破壊を方向転換し一部保存をするという話が出て、市議会の教育文化委員会の関係者が困惑していた、という話を耳にした。</p> <p>私は、門司鉄道遺構について関心を持っているが、一連の流れを見るに、全面保存や大部分の切り出しによる保存ができないのは、残念ながら、文化財保存の予算の関係ではなかろうか、と愚考する。</p> <p>報道機関が注目を集め、国際連合のユネスコなる団体に関係するイコモスなる団体の福島綾子氏が、2024年の教育委員会会議への陳情で、事業用地すべてに遺構がある可能性があるので発掘調査をしてほしいという主旨の要望をしている中、その一部しか発掘調査をせず、その中で機関車庫が出てそのみ騒ぎになっているという現実。そして、悲しいかな全面調査の予算がない、という現実があるように思える。予算がないため、簡易的に全面スキャンをする非破壊検査もできないのだろう。</p> <p>これは、ほかの地域での鉄道遺構でも言えたことであり、残念であるが現実であろう。仮に違うなら、市議会にて市当局の答弁を求める。</p> <p>世の中には、古田織部という人がそうであったと言うように、考古学や歴史学、鉄オタ、アイドルオタクなど、屁有家ものと呼ばれる人がいるという。それらの産業というものも存在し、それなりの市場を形成しているようだ。ただ、門司鉄道遺構に関心があるかどうかはわからないし、つかめないのではないかな。</p> <p>しかし、それらを調査する方法として、クラウドファンディングがあるのではないかな、と考える。これらで集めた資金は、門司鉄道遺構の保存用に活かせばよいだろう。門司港の風俗文化を伝える三宜楼も、</p>		

(続 く)

長年の話し合いの中で約2千万円の寄付が集められ、土地を取得したとされる。門司鉄道遺構は、急に市民に知らされてから1年しかたっておらず、しかも、遺構の報道から数か月後の2月議会には壊すことが前提であるという話が報道で伝わった感がある。それでは市民運動も資金集めもできないだろう。そこで以下のとおり決議案を提出する。

記

(決議案)

- 1 市議会は、先の6月議会で、いわゆる門司鉄道遺構の丁寧な記録保存と複合公共施設の建設を実質決定した。ただ、2024年11月21日、市長は全面破壊の方針を転換し、一部保存に切り替えた、という事実を確認する。
- 2 市議会は、いわゆる門司鉄道遺構の保存資金の確保のため、クラウドファンディングの実施を市長に求める。
- 3 市議会は、市長に対し、クラウドファンディングの金額により、遺構の保存面積の拡充をしよう求める。
- 4 市議会は、市長に対し、さらに可能であれば、クラウドファンディングの金額により、門司鉄道遺構の調査の拡充を求める。

以上